

平成24年度大阪市博物館協会外部評価【シート1・2】委員総括コメントへの措置状況（市立美術館）

		指摘事項	措置状況
【シート1】	運営状況 (総括)	①現場のスタッフ要員の拡充が望まれると同時に、大都市大阪の美術館としての役割、進むべき方向をシンプルな言葉で再定義していく必要がある。	①26年4月1日付で、新たに2名の学芸員(契約職員)を採用した。また、この間大阪市において市立美術館の役割やあり方が検討されている。
【シート2】各館・所の特徴	「館の強み」の認識	①他館には見られない独自の資産をきちんと評価し、その魅力を引き出して伝えていくための一層の工夫を。	①館藏品や寄託品の充実とともに、それらを有効に活用する、コレクション展(平常展)の一層の充実を図っている。また、館蔵の大型コレクションを特別陳列で一括で紹介しつつ、所藏品図録の充実も図っている。
	「館の弱み」の認識	①建物の老朽化への対応は美術館というより市政にとって重要な課題。建築自体の歴史的な価値と役割を正當に評価する視点を。 ②大都市大阪の公立美術館としての自らの使命について、再確認が必要。 ③65歳以上無料であっても常設展入場者の数が少ないことについては、原因究明と改善策の立案がなされるべき。	①美術館の大規模改修については、収蔵庫や展示室を中心に大阪市で検討中である。また、建造物としての美術館を登録文化財にする方向で大阪市教育委員会が手続きを進めている。 ②「あるべき姿」について内部で検討している。 ③コレクション展の展示替えにかかる展示室配置の構造上の問題を改良できるよう、改修案に反映し、開館日数を増やしていきたい。また、コレクション展の内容表示の充実を、HPの刷新時や周辺看板の再検討時に実施した。
	「環境の変化」の認識	①阿倍野地区、JR天王寺駅の再開発にともない、美術館へのアプローチについても改善を。様々な周辺施設と連携して、相乗効果を高めることを期待。	①阿倍野Q'sモール、あべのハルカス、あべの地下街商店街などとも広報上の連携をより一層図っている。また、ハルカス美術館とは半券提示による割引入場などの対応も実施している。展覧内容の点でも、通天閣の100周年では「通天閣を含めた風景画」(平成25年度)の展示をコレクション展(平常展)の中で実施し、通天閣・動物園との連携を図った。
	指定期間の変化	①「住吉さん～住吉大社1800年の歴史と美術～展」(22年度)のように、地元にある文化遺産の価値を掘り起こすという視点を大事に。	①「住吉さん」展のほかにも、大阪という地域性に注目して企画した「鴻池コレクション扇絵名品展」(平成22年度)、「再発見! 大阪の至宝 —コレクターたちが愛したたからもの—」(平成25年度)を開催し、大阪の美術資産の掘り起こしと、地元との協力関係の向上なども図った。
	今後の課題	①建物の老朽化にどう対処するかが大きな課題。建築について正當な評価をすることが必要。 ②学芸員の増員を始め組織体制の整備も喫緊の課題。この課題に取り組むに当たっては、多忙を極めている学芸員の勤務実態について、美術館と協会事務局(総務部)が実態を十分把握することが大前提と考える。 ③作品の購入や修復など多くの課題に対し、適切な優先順位をつけてタイミングを失うことがないように予算措置をすべき。 ④科学研究費補助金申請団体の指定条件をクリアすること。	①大阪市内で大規模改修に向けて内容を検討中であり、建造物としては登録文化財にする方向で大阪市教育委員会が手続きを進めている。 ②26年4月1日付で、新たに2名の学芸員(契約職員)を採用した。 ③26年度には館藏品の葛飾北斎筆「潮干狩図」1幅(重要文化財)の修理を実施する予定。 ④25年に科学研究費補助金申請団体の指定を受け、26年度科研費1本が採択された。

平成24年度 大阪市博物館協会外部評価【シート3】委員総括コメントへの措置状況

市立美術館

事業区分	指摘事項	措置状況
1 資料の収集、保存、活用	①収蔵庫だけでなく建築自体が老朽化しているため、建築の歴史的な意義と周辺環境への役割を踏まえ抜本的対策を。収蔵環境について、外部の保存修復の専門家も交え迅速適切な対応を。 ②良質な個人コレクションについて、さらに積極的活用を。	①美術館の大規模改修については、収蔵庫や展示室を中心に大阪市で検討中。 ②特別陳列やコレクション展(平常展)の特集展示などで活用を図っている。
2 調査・研究	①寄贈品の基礎データの作成について、できれば持続を。 ②紀要の活用を。美術館HPでも書誌情報及び概要を。	①館蔵品の基礎データの作成は継続して実施。 ②紀要により、各学芸員の研究の情報発信の場を作り、HPでも紀要内容のPDF配布を行っている。
3 展示(常設展示、特別展)、来館者サービス	①個人コレクションの寄贈者についてコレクター列伝としてシリーズ化して展示、出版展開を。まとまった寄贈には展覧会を実施し図録制作を。 ②解説は易しく短く。また図録やHPなど、メディアの特徴を活かした柔軟な書付けを。単なる作家論や作品論にとどまらず、背景の文化や歴史にも目配りを。平常展(常設展)については、企画意図のわかりやすい説明を。 ③展示室以外の空間は極力明るくてもいいのでは。 ④大規模特別展の際の常設展の在り方、学芸員の負担を減らす工夫、展示内容の観客への広報について、抜本的な検討を。	①辻本コレクション、田原コレクション、漆盃の3コレクションなどを特別陳列やコレクション展で紹介し、あわせて蔵品図録を作成。本年度・来年度には特別陳列で田万コレクションの紹介・図録作成を実施する。 ②コレクション展では、題箋や一点解説の改良、平易な解説の会場パネル類の作成を実施。 ③作品の照度制限との関連で、会場をより明るくできるような心がけている。 ④周辺看板に特別展併設時のコレクション展の内容を表示するよう改良。HPや周辺看板もコレクション展の内容表示を充実した。また、改修との関連でコレクション展の展示替がしやすい構造への取り組みを行っている。
4 教育普及、学習支援、友の会、ボランティア	①格差が大きいと言われる大阪で、誰もが利用できる「居場所」としての役割も果たす努力を。天王寺公園の入場料など再考が必要。定例化している事業もあるのでさらに力を。 ②友の会向け事業について、友の会による自主的な活動も含めて、一層拡充を。 ③高校生や大学生など美術館にあまり足を運ばない層にも目配りを。事業の企画・運営は他館の経験や全国美術館会議教育普及研究部会の蓄積なども参考に。	①大阪市では、天王寺公園の改修計画に伴い、無料化を検討。小中学生の観賞事業や「美術館へ行こう」の絵画教室、障がい者向けの特別鑑賞会の実施など、美術館を身近に感じてもらえる事業を実施。 ②友の会の写生会が雨の日には中止していたが、美術館で絵画教室を行うようにしたことや美術研究所と連携した絵画教室の開催など内容の充実に努めた。 ③高大学生の入館者の増加に向けて、今後、他館などの経験を参考に取組みを進める。
5 学校等との利用促進、学校教育支援	①活動の内容について、HP等で画像とともに積極的な紹介を。 ②現場に負担が掛かりすぎない範囲で実施を。 ③キャンパス・メンバーズの増員など、大学生の利用増加を。	①「美術館に行こう」事業の案内については、HPなどで紹介しているが、学校利用については今後より一層アピールする。 ②小中学生の観賞授業を可能な限り実施。 ③キャンパスメンバーについては、協会総務部とともに利用増を検討する。
6 広報・宣伝、情報公開と発信	①阿倍野地区再開発にともない地元の商業施設と積極的に連携し相乗効果を。 ②天王寺公園、慶沢園等と一体感を持てるように整備すべきでは。 ③外国人が宿泊するスポット、よく行く場所等を更に開拓し、効果的な広報を。 ④HPの多言語化(英語、中国語、ハングル)の努力を。 ⑤外国人は常設展(平常展)を見に来るのでは。期待に応える広報が必要。 ⑥美術館HPで学芸員の専門分野や研究業績、研究内容などの公開を。	①あべのQ'sモールやアパホテル等の会員割引やあべの地下街でのポスター掲示の協力を実施 ②天王寺公園、慶沢園の整備は大阪市で検討中 ③外国語美術館パンフレット(英語、中国語、韓国語)を近隣地区のアパホテル、都ホテルに設置 ④展覧会ごとの多言語は時間面での困難さがあるが、美術館の基本的項目は3カ国語のパンフレットに掲載 ⑤コレクション展の多言語パンフレット、チラシの作成は時間面で困難さがあるが、3カ国語の美術館パンフレットについては近隣のホテルに設置 ⑥研究紀要や「美をつくし」のデータをHPに掲載
7 地域、市民、関連機関との連携・交流	①コンサートについて、地元との結びつきを強めるため定例化が望ましい。(人手不足の中で本当に美術以外の活動ができるのであろうか)	①浪速区役所と連携し毎年「なにわの日」の企画としてテレマン交響楽団のコンサートを実施。また、地元の澤野工房ともジャズ演奏会を実施。
8 施設の整備、維持管理、リスクマネジメント	①震災時対策について、避難者、職員、作品などの安全確保も視野に定期的に再点検を。	①毎年、消防訓練を実施し、避難訓練や作品の持ち出し訓練を実施

<p>9 運営・マネジメント</p>	<p>①学芸員の業務負担大について、施設設置者(大阪市)も含め抜本的な対策を。要員の確保に努めるべき。それが不可能ならば、美術館の使命と事業内容を絞ることも視野に入れるべき。 ②子ども料金を低く抑え、ファミリー層が来やすい設定にするのは。 ③多様な美術団体が公平に使用できるよう改善を。(利用規定の改定が26年度よりなされることになっている) ④大阪市政の問題であるが、天王寺公園・慶沢園を含む周辺整備により、この地域の文化価値を高めることができるのでは。レストランやカフェ、売店についても検討を。</p>	<p>①26年度に学芸員2名を採用 ②中学生以下は観覧料を無料(美術館条例) ③地下展覧会室の募集要領を改定し、優先利用団体の選定や抽選による利用団体の決定を行った。 ④大阪市では、天王寺公園エントランスエリアへの民間事業者の導入を図っており、レストランやカフェ、慶沢園の改修についても検討を行っている。</p>
<p>10 a ※各館の特性がでるように、この項目を活用する。</p>	<p>①作品貸出、企画展準備など、あらゆる機会を利用して学芸員の海外研修を。 ②経営資源、広報、社会連携など多様な側面から総合的な戦略を。</p>	<p>①中国絵画の海外出品時のクーリエ派遣の際に現地にて実施。また、科研費申請対象館となったので、今後海外での研究についても申請していく。 ②地域・企業との連携事業の実施や集客施設等との連携によるチラシ・パンフレットの設置等の広報活動の強化を図っている。また、当館の特性を活かした、特別展やコレクション展の実施を行っていく。</p>